

# あの日女子に安城の工口本。



禁

八

+

EID

俺の前に  
突然現れた

夏のケモノは

バラバラになっていた  
俺たちの心を

また一つにして



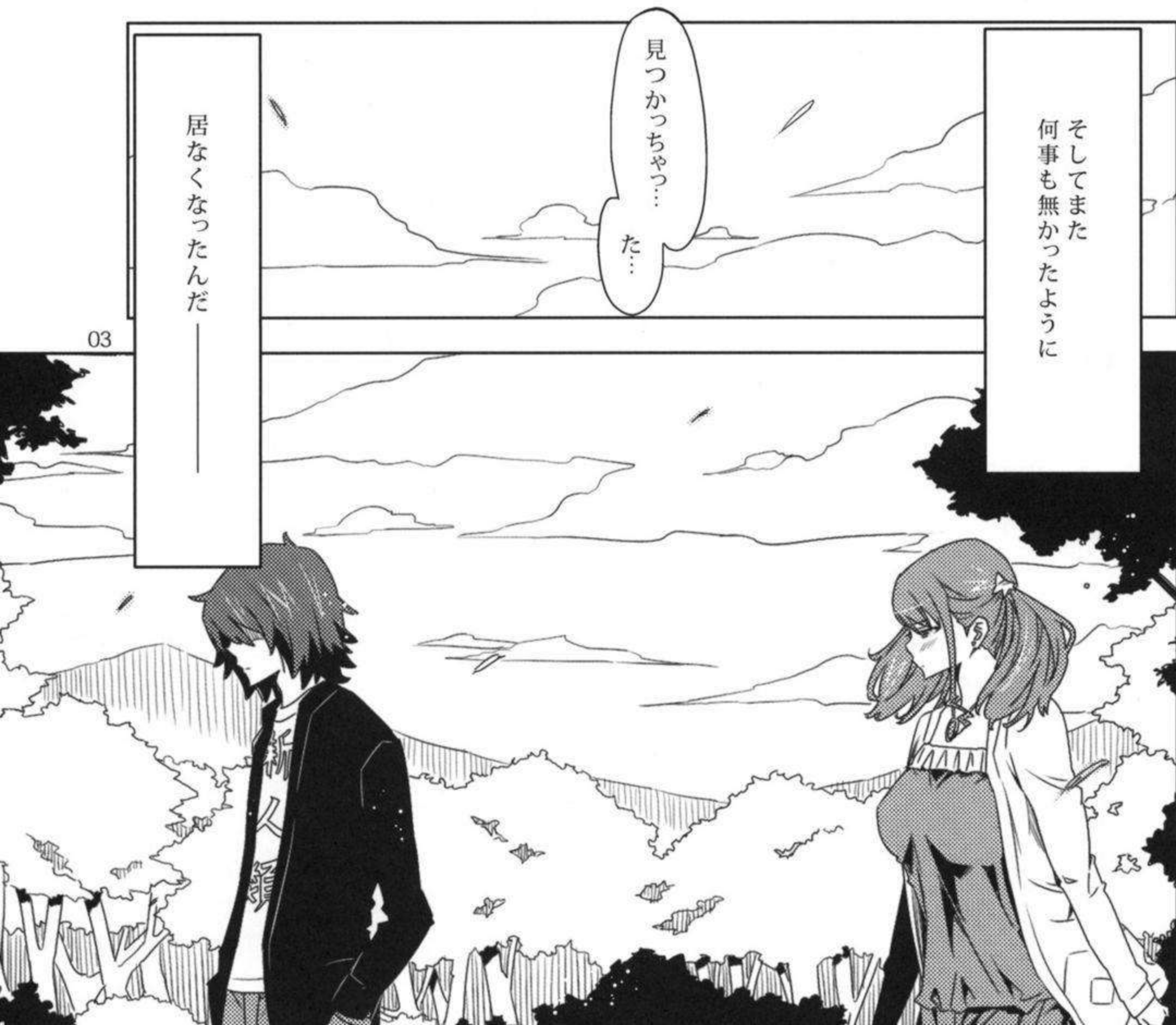
そしてまた  
何事も無かったように

見つかっちゃっ...

た...

居なくなっただ

03

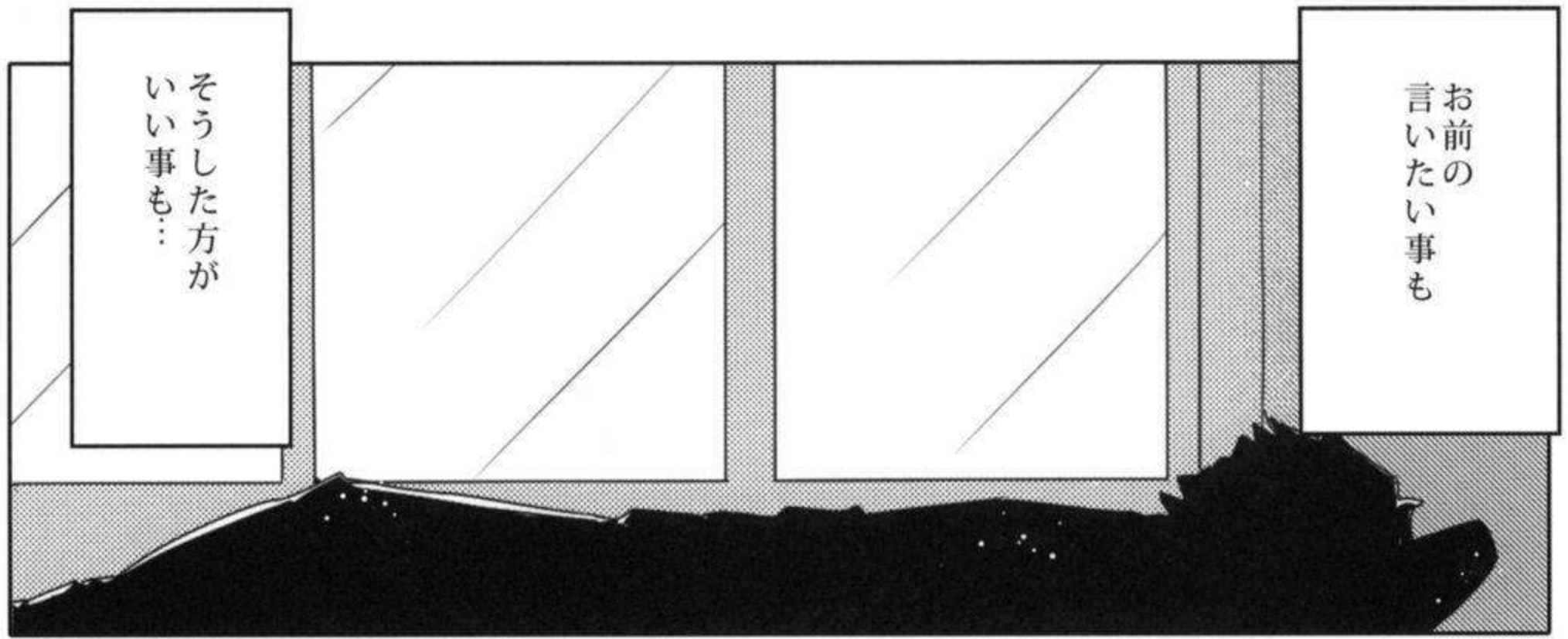






05





お前の  
言いたい事も

そうした方が  
いい事も…



いい加減

前に進まなきゃ  
いけない事も…

06



解ってる——

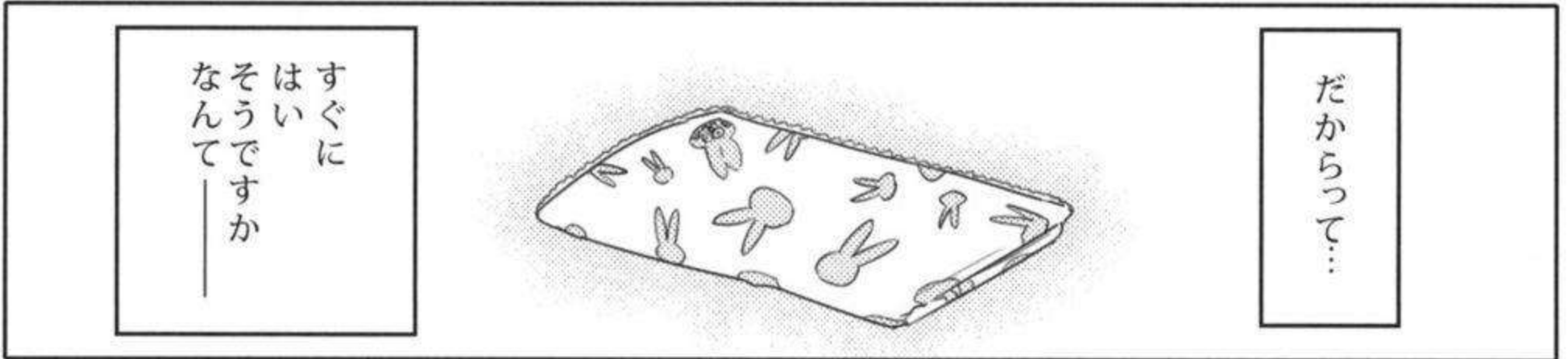
#…

でも…



でも――

じんたんを  
好きだった自分を  
許せなくて……



だからって……

すぐに  
はい  
そうですか  
なんて――



そんな簡単な  
もんじゃ……

ね……だろ……



なあ……

あなる……



08









居なくなつち  
まっつてから

ずっと あの時のまま  
止まっちまっつてた…



俺は…

めんまが好き…

だった…ずっと…



ふさぎ込んで  
閉じこもって…

周りも見ねーで  
過ごしてた…

勝手に一人に  
なつちまっつたって…  
思いこんじまっつた…



でも…あなる

良く考えたら  
お前はずっと俺を

気にかけて  
くれてたんだよな…



ちよつと考えりゃ  
解る事だったのに...  
ずつと気付かなくて

ごめんな...



お前となら  
前に進めそうだって  
思つたんだ...

もしも まだ  
間に合うなら...

え...



ずつと  
これからも

一緒に  
居させて  
くないか...

え...





13





お前って...

うん...

あなる...

あ...

カアア

...



おん...

胸...

でか...



...

エッチ!

何言ってるのよッ



ぬぬっ...  
脱がしていきなり  
チャーツ





何って…

お前なあ…

んんん  
言っちゃ様…

はあ…



ちよつ

ちよつとヤダ  
何ソレ!?

こわっ

えー…



?

ヤダ…

今日

俺ら…別に



だから

ゆつくりで  
いいんだよ



私の居場所が  
出来たのがうれしい

私  
じんたんの中に

キ…



それをちゃんと  
感じたい…

だからちゃんと  
最後まで…



あなる…



して欲しいの…  
じんたん…



わかった…

いいんだな…

あなる…

…うん…





いくぞ...あなる...

うん...  
じんたん...

はっ...

痛く...ないか

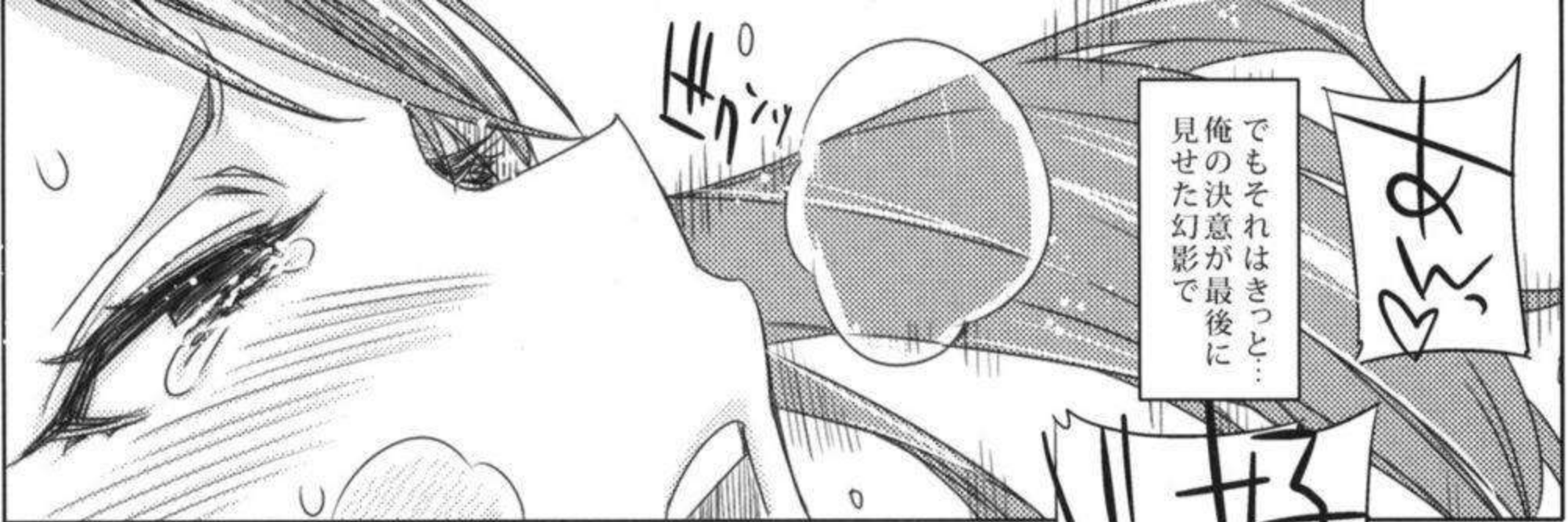
じんたんのが...  
はいつて...きて...る

ん...だい...  
じよぶ...



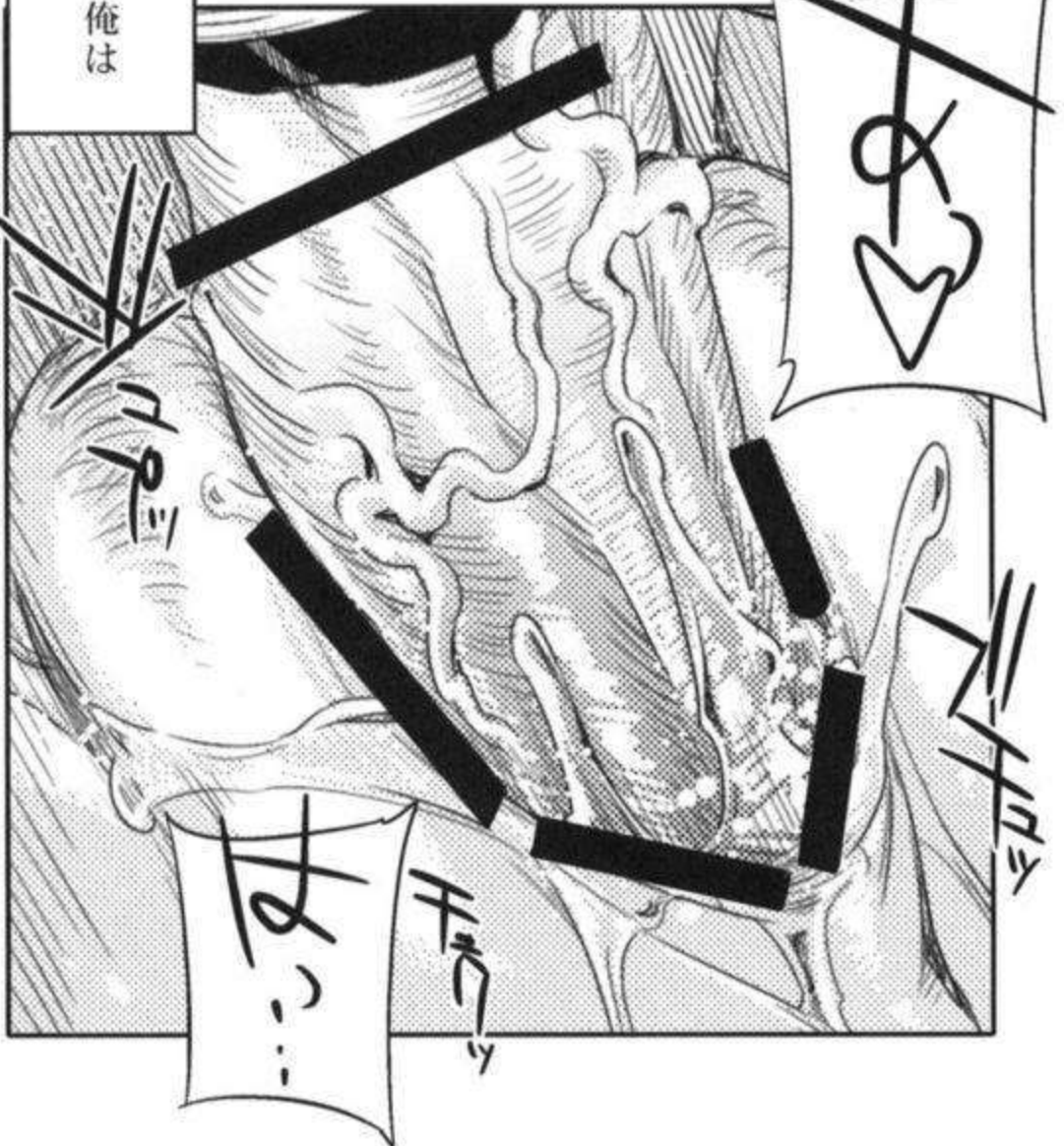
俺の名前を呼びながらしがみつく  
あなるの声の中 一瞬だけ  
ほんの一瞬だけめんまの顔が浮かんだ...

その顔は笑ってて  
でも 少しでも  
寂しそうだったんだ...



泡沫の如く意識の中へ 解けるように消えていった そして俺の目の前には やっぱりあなるが居て...

だから俺は





あなるとなら

たん...

じん...

クッ...

グッ...

ズッ...



あとがき

どうもお疲れ様です。EDです。  
はじめましての方始めまして。お久しぶりの方、本当にお久しぶりです。EDです。

あの花本ということで見開きで語りに語ってやろうと思っていたのですが、  
今入稿しめの残り1時間をきっています、あせっています。  
なのでその語りは2が出たときにしたいと思います。

とりあえず今回、スケジュールもちゃんととっていたんですが、  
僕がまったく悪くない状況で、電車から降りてきた女性のかばんの装飾品に  
右手の中指が引っかかってしまい、固定安静で全治6週間という、  
まさかの事態が発生してしまい、一般商業の仕事はおろか、この同人誌は  
完全にリハビリ状態で書く羽目になってしまいました。  
ページというか描写も結構変更せざるを得なくなり、ネームの段階の解像度の低い  
ものを拡大して使用するという非常に不本意な本になってしまいました、  
なんとか形に出来たのでほっとしております。

内容はもっとブラッシュアップできたものが描けたと思いますが、  
どうして僕は何事にもトラブルなしで臨めないのかなあと、  
悲しい思いがよぎります。

そんなところも踏まえつつ、もしも気に入っていただけましたらば、  
こんな嬉しいことはありません。  
気に入らなかった方には大変申し訳ない思いでいっぱいです。すいません。

あといつもみたくエロシーンが少なくてごめんなさい。  
2をかくときはいっぱい入れたいと思います。

久しぶりにかいたエロ漫画でしたが、また一からやりなおすつもりで  
今後も描けて行けたらいいなあと思いました。  
裸は描かないともものすごく絵が下手になるなあと思ったんですよね…。  
あとトーン時間あったら、もっとめちゃくちゃに貼りたかったです。  
トーン嫌いだったんですが、楽しいです。時間さえあったら…。

とにかく時間があればという締めになってしまいましたが、そんな感じで  
なんとか生きております。  
またお目にかかれることがあれば、嬉しいなあと思います。

お手すきのときは、見ていただければ幸いです。  
それではこの辺で、またお会いできる時まで。  
お元気で！！！！

ED

ゲストにさめだ先生と久坂先生が描いてくれました。  
ありがたい…本当に…この本は多くの人の支えで完成しました。涙が出ます。  
そして手にしてくださった方にも涙が出ます。本当にありがとうございます…。

奥付  
サークルED (EDGE)  
「あの日みた安城の工口い本。」  
20110814  
発行者 ED  
連絡先 ed@redsky.sakura.ne.jp  
印刷所 大和印刷所

